

よみがえれ「舞鶴の顔」

西舞鶴高生ら花壇再生



ヒマワリの種を植える小島萌衣里さん(右端)や水島貞夫会長(右から2人目)ら—JR西舞鶴駅東口で

府立西舞鶴高校の生徒が15日、地域の自治会有志と協力してJR西舞鶴駅東口(舞鶴市伊佐津)の花壇再生に取り組んだ。府警の「ひまわりの絆プロジェクト」と連携し、草刈りをしてヒマワリの種を植えた。2021年春まで管理していた公社が解散し、荒廃した花壇が高校生と市民の協力によみがえりつつある。

花壇再生は21年7月、3年生の小島萌衣里さん(右端)は、通学で学校近くの里さん(左)の呼びかけで、西舞鶴駅を利用するた

び、かつては「舞鶴の顔」として観光客の目にも楽しませてきた駅東口の花壇が、誰も手入れをしなくなったため荒廃し草ボウボウとなってしまう光景に心を痛めていた。

「ひまわりの絆」と連携

市によると「市花と緑の公社」は01年、46人体制でスタートし、舞鶴自然文化園やJR駅の花壇の整備などを続けてきたが、経費削減などを理由に21年3月末に解散。市の直轄事業となったが、手が回らなくなったとい

りを大切に育てていた。両親からその種を託された府警は各地の教員らに「何とかしたい」と相談し、西舞鶴高は「学校全体の事故防止を目的として取り組むこ



河村俊介さんの作品の前語る柴田富美代さん(左)と小橋美園さん—舞鶴市西方寺で

傘寿超え 創作に夢中

舞鶴・30日まで 西舞鶴高OB展

「昭和34年西舞鶴高卒業生作品展」が舞鶴市西方寺の茅葺民家を活用した複合施設「大庄屋上野家」で開かれた。1959(昭和34)年に府立西舞鶴高校を卒業した柴田富美代さん、小橋美園さん、河村俊介さんの3人展。同窓会での交流を通じて、卒業して63年目での合同展開催となった。30日まで(午後8時半〜午後5時、水曜日休館)。

柴田さんらは西舞鶴高を卒業後、同級生の多くが地元を離れて都会に出るなどする中、それぞれの道を歩んできたという。最近では同窓会で集まる機会があり、「今、夢中になっていること」を話し合い、3人展を開くことを決めたとい

柴田さんは「80歳を超えた同級生が集まることがとてもうれい」と話していた。

「3年間で未来を考えて」

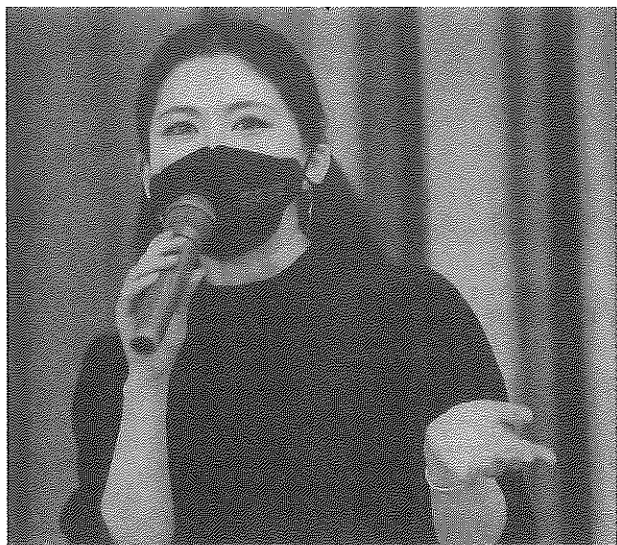
舞鶴市出身でウィーンを拠点に世界で活躍するソプラノ歌手、田中彩子さんが30日、母校の府立西舞鶴高を訪れ、後輩たちと語り合った。

ソプラノ歌手 田中彩子さん

高校卒業後、18歳で単身ウィーンに渡って歌手を志した田中さんは「高校の3年間は自分の未来を考え、チャンス(選択)できる時間。決断を迫られたら、本当に何をやりたいのかを考えてほしい」と語りかけた。

さばわからない。だから1回外に出て、新しいものを見てほしい。自分では気づかなかった、自分を閉じ込めている殻を打ち破ることが出来るかもしれない」と語りかけ、さまざまな国を訪れるよう呼びかけた。

そして、高校時代の3年間で「自分の未来を考える時間。何が好



生徒の質問に答える田中彩子さん

舞鶴市引士の府立西舞鶴高で

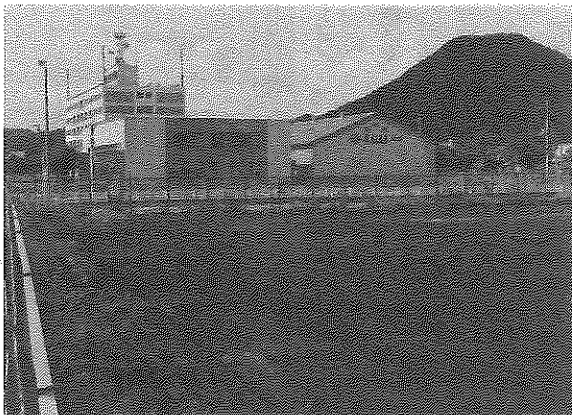
母校・西舞鶴高で後輩と語り合う

きなのか考えてほしい」と語りかけ、「目指している道の途中にもつらいことはある。私はどうせつらい目に遭うなら、やりたいことをやろうと思った」とソプラノ歌手としての半生を振り返った。10人の生徒が田中さんに次々と質問した。作曲家を目指す生徒の質問には「音楽の世界は弱肉強食、自分の才能で生きていくしかない。自分の長所を明確にし、できないことはしない」と語った。演劇部の生徒の「舞台で気をつけていることは」の質問には「ちょっとした目の動きなど、細かい動きに気をつけること」と答え、「海外に出たら相手の目をしっかりと見て自分をアピールしてほしい。その一瞬で勝負が決まる」と語った。

この後、生徒の有志に歌唱指導した。

「海外に出て、新たな自分発見を」

田中さんは講演で「舞鶴はとても豊かな所。ずっと住んでいたらその良



舞鶴市に譲渡される旧海軍舞鶴鎮守府の用地(手前の更地)。後方は第8管区海上保安本部などが入る舞鶴港湾合同庁舎—舞鶴市西で

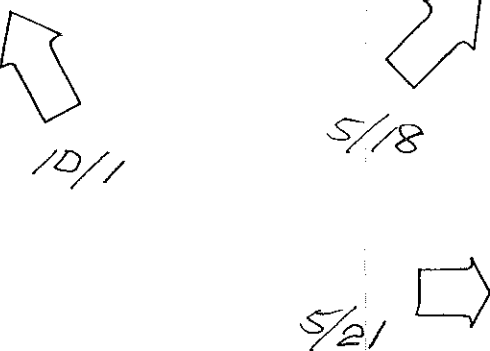
旧海軍用地 無償譲渡

財務省

舞鶴市に 西消防署移転

財務省は4日、舞鶴市西の旧海軍用地6379平方メートルを市に無償譲渡すると発表した。市は老朽化し

用地はJR西舞鶴駅を結ぶ。市は老朽化し



175号泊い。近くには第8管区海上保安本部などが入る舞鶴港湾合同庁舎がある。財務省によると、戦前は旧海軍舞鶴鎮守府の資材置き場で、戦後は遊休地になった。国の合同庁舎の建設も計画されたが、立ち消えになった経緯がある。

西消防署は用地から東へ350メートルあり、1984年建設で老朽化が進み、市が21年度に譲渡を申し入れた。市は西消防署と東消防署中出張所(同市余部下)の機能を統合した庁舎を新設し、敷地内に消防訓練場とヘリポートを建設する。事業費は算定中という。市の担当者は「用地は住宅密集地に近く、国道に面しており緊急出動にもスムーズに対応できる」などと利点を説明した。

10/5

造船インフラ活用を

舞鶴商工会議所（小西剛会頭）は9日、「次なる産業基盤の構築について」と題した政策提言書を、多々見良三市長に提出した。舞鶴海軍工廠を引き継ぐシヤパンマリユニテッド（JMU、本社・横浜市）の舞鶴事業所が新造船部門から撤退し、地域の物作りは大きく揺らいている。提言は、明治時代から培ってきた「造船インフラ・技術・人材」の火種があるうちに、次世代に向けた「百年産業」の構築を目指すとしている。

【塩田敏夫】



提言書の趣旨を説明する小西剛会頭（左）
舞鶴市役所で

舞鶴商議所が政策提言 JMU撤退受け

提言書は具体的には、
①舞鶴市には海上自衛隊舞鶴地方隊や第8管区海上保安本部があり、基地の機能を維持するために艦船の改良と修理を行う造船所が不可欠②大型造船所のインフラを活用できる舞鶴港を浮体式大型洋上風力発電所の建造、保守管理基地にする③舞鶴市に近い関西電力高浜、大飯原発の保守管理をする④関西電力舞鶴火力発電所の革新技術導入の加速化を図る⑤製造過程でCO₂を排出しないグリーン水素を

基地機能維持、発電所建造など5案

製造するプラントを誘致する―の五つを提言した。提言書は、府や国にも提出する。小西会頭は「明治34（1901）年の舞鶴鎮守府開庁以来、舞鶴は海軍の町として発展してきたが、JMUの新造船部門の撤退で、産業基盤が大きく揺らいている。舞鶴が持っている潜在能力を勘案し、舞鶴の将来を考えると提言とした」と語った。これに対し、多々見市長は「提言はエネルギーや国防に関わる内容で、ぜひ実現させたい。舞鶴は将来にわたって存続するエリアと確信している。実現させるためには多くの人が、特に若い世代と価値観を共有する必要がある」と語った。

多言語で文化財紹介

舞鶴、綾部両市にある7寺院の国宝や重要文化財を多言語で伝える「森の寺海外発信プロジェクト」が完成した。ウェブサイトで各寺院について11カ国語で紹介。寺を訪れた人にスマホなどを通じ、仏像制作当時の姿をコンピューターグラフィックス（CG）で見せるなど最新技術も駆使した。関係者は「海外の観光客に貴重な文化財を深く理解してもらう機会に」と期待する。

【塩田敏夫】



舞鶴、綾部の7寺院 プロジェクトでウェブ発信

プロジェクトを手掛けた実行委員会（委員長、四方八洲男・元綾部市長）が15日、舞鶴市役所で報告会を開いた。実行委は地域活性化活動を展開している「NPO法人北近畿みらい」を中心に組織し、文化庁など行政の支援も得て2020～21年度に取り組んだ。事業費は約6000万円。舞鶴市の松尾寺、金剛院、綾部市の岩王寺、楞嚴寺、光明寺、安国寺、正暦寺の7カ寺。サイトでは建物、仏像、仏画などの有形文化財から、舞踊などの無形文化財まで対象は幅広く、英語、フランス語、中国語な



また、サイトやパンフレット、寺に設置された案内板に記載されたQRコードをスマホなどで読み取ると、高精細な映像を表示。境内の雰囲気味わいながら、理解を深めることがで

また、金剛院では三重塔（重文）などを解説し、快慶作の木造執金剛神立像と木造深沙大將立像（ともに重文）については顔料分析などに基いて再現した制作時の鮮やかな姿をCGで鑑賞できる。

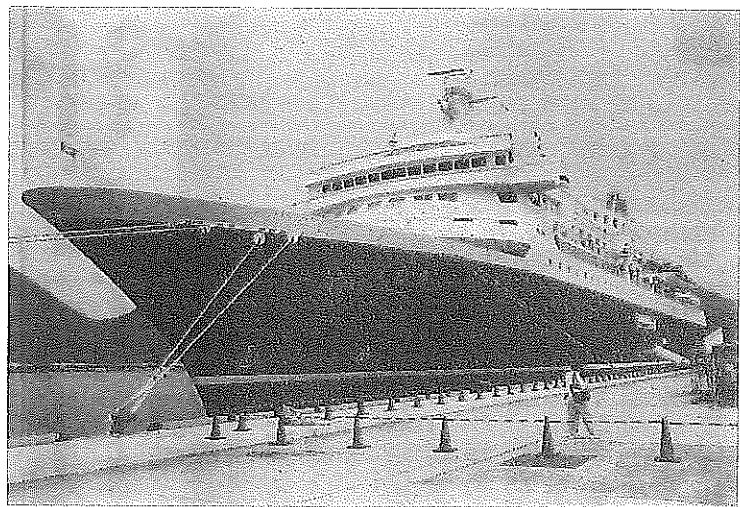
金剛院の松尾義空住職は「最新鋭の技術で文化財の魅力が新たに発信できたらありがたい」と話した。実行委の四方委員長は「府北部には貴重な文化財を持つ寺がたくさんある。コロナ禍でインバウンド（訪日客）が消えてしまったが、落ち着いたら事業を再び進めたい」と願った。

外国人観光客再び府北部に

8/10

7/16

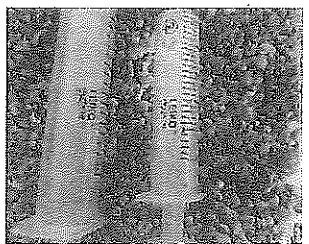
5/27



10カ月ぶりクルーズ船

クルーズ船「にっぽん丸」（2万2472総トン）が26日、舞鶴市松陰の京都舞鶴港に入港した。写真。新型コロナウイルスのため、同港へのクルーズ船の入港は2021年8月1日以来、約10カ月ぶり。約190人の乗客は伊根町の舟屋や天橋立の観光などに繰り出した。

府によると22年は、今回を含めて3隻のクルーズ船の同港への入港が予定されている。「にっぽん丸」を運航する商船三井客船の柿ノ内聡広報道室長は「新型コロナウイルス感染防止に努め、徐々に運航を再開していきたい」と話している。



舞鶴の9海岸に注射器多数漂着。市、注意呼びかけ

舞鶴市の小橋、三浜などの海岸で25、26の両日、漂着した注射器の写真・市提供が相次いで見つかった。市によると、両日で計52本を確認し回収した。市は市民にメールを配信し、注意を呼びかけている。

市によると最初の発見は、25日午後4時ごろ、小橋地区で。市職員が確認し、その後の調査で計9カ所の海岸で漂着が分かった。さらに漂着する可能性もあるため、市は警戒を強めている。

留学中の教え子にエール

ウズベク「ノリコ学級」の校長が来日

ウズベキスタンの日本語学校「ノリコ学級」のナシロフ・ガニシエル校長(58)が7日、教え子が留学中の近畿職業能力開発大学校京都校(舞鶴市上安)を訪れた。同校では、学級出身の若者3人が市の支援事業で初めて来日し、4月から実習に励んでいる。ナシロフ校長は「頑張っている姿を見られてうれしい」と笑顔を見せ、留学生は「日本の優れた技術を学びたい」と表情を引き締めていた。

舞鶴・近畿能開大京都校を訪問

ウズベキスタンは日本の名前が紀子さんにちなみ、現在、約50人が学

連崩壊を経て独立した。一方、舞鶴市は2021年、ロシア地方から

日本が第二次大戦に敗れた後、約2万5000人の日本人が抑留された地。抑留者が帰還した引き揚げの町である舞鶴市との交流が続いている。2021年の東京五輪では、舞鶴市がウズベキスタンのホストタウンとなった。

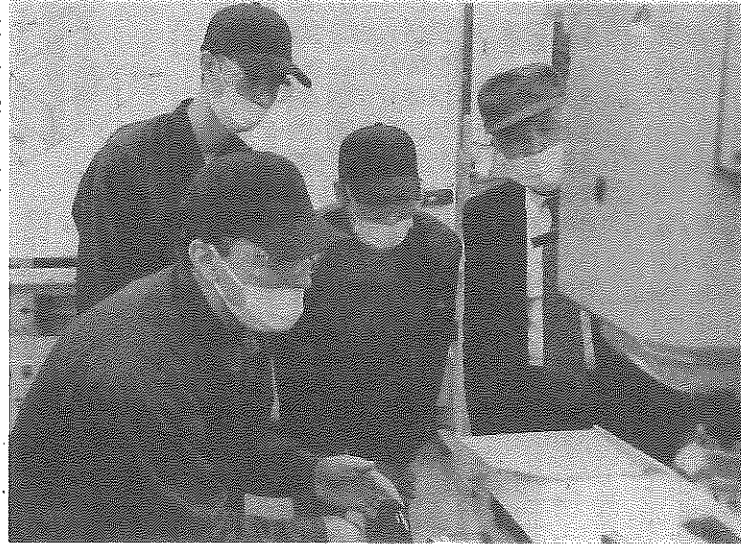
ノリコ学級はウズベキスタン東部のリシタン地方にあり、日本の大手企業に勤めていた大崎重勝さん、紀子さん夫妻が1999年に創立した。大崎さんが仕事で現地を訪れた際、子どもたちの生き生きとした表情に感動。「未来のために」と退職金を投じ、無償で学べる日本語学校を作った。学

一方、舞鶴市は2021年、ロシア地方から近畿職業能力開発大学校京都校に留学する学生を支援する制度。コロナ禍で来日を延期していたイシモイロフさんは「日本の文化、歴史、技術を興味を持つようになり、留学を希望したとい

ナシロフ校長は「3人に会いたくてやってきま

ウズベク人国際交流員離任
中央アジアのウズベキスタンから来日し、5年間にわたって舞鶴市の国際交流員として活動したレ・アルトゥルさん(38)が任期を終え、27日に多々見良三市長を訪ねて離任のあいさつをした。

「長い間、ご苦労様でしたと声を掛けられ、アルトゥルさんは「舞鶴の人には優しく接してもらい、感謝の気持ちでいっぱいです」と述べた。【塩田敏夫】



教え子の実習の様子を見守るナシロフ・ガニシエル校長(右端)＝舞鶴市上安の近畿職業能力開発大学校京都校で

舞鶴で新規就農

兵庫県宝塚市出身の奥野亜里沙さん(34)が舞鶴市三日市地区で新規就農し、特産の万願寺甘とう(トウガラシ)専業農家として歩み出した。府の支援制度「担い手養成実践農場」の2年間の研修を終え、13日に修了式があった。奥野さんは「万願寺甘とうが大好き。煮ても焼いても揚げてもおいしい。タマネギやニンジンのように、みなさんに普段から食べてもらえるよう全国に魅力を発信していきたい」と抱負を語っている。【塩田敏夫】

万願寺甘とう一本で

奥野さんは同志社大文学部で国文学を学んだ後、海上自衛官として4年間勤務。由良川沿いにある舞鶴市三日市地区は父勤さんの実家があり、子どものころは夏休みに泊まりに来るのが楽しみだったという。

奥野さん 実践農場研修終え

勤さんもUターンしてお茶の栽培を続けていた。奥野さんは「おいしいものは心を豊かにしてくれる」という思いが強くなって農業を志し、「担い手養成実践農場」を活用することにした。

奥野さんは同志社大文学部で国文学を学んだ後、海上自衛官として4年間勤務。由良川沿いにある舞鶴市三日市地区は父勤さんの実家があり、子どものころは夏休みに泊まりに来るのが楽しみだったという。



修了式後に万願寺甘とうを育てるビニールハウスを案内する奥野亜里沙さん＝舞鶴市三日市で

ウズベクを建て、露地と合わせて計1400本の苗を植えた奥野さんは「技術を磨いて収量を増やすとともに、作業場をきれいにしたい。そして楽しく働いている姿をみなさんに見ていただきたい」と決意表明した。

5/14

疾風！忍者遠足の巻 舞鶴・橋幼稚園

「電光石火の術」を披露する園児たち＝舞鶴市南田辺の田辺城跡で



舞鶴市浜の橋幼稚園の年長組園児29人が11日、同市南田辺の田辺城跡で「忍者遠足」を体験した。同園によると、子供たちに舞鶴の歴史を知ってもらおうと20年以上前から実施している名物行事。忍者の衣装を身につけた園児たちは、久しぶりの青空の下を元気いっぱい走り回った。

ぐるぐるを円を描いて動き回る「竜巻の術」「電光石火の術」「手裏剣の術」などを次々と披露し、「免許皆伝」の奥義書を授与されていた。

10/12

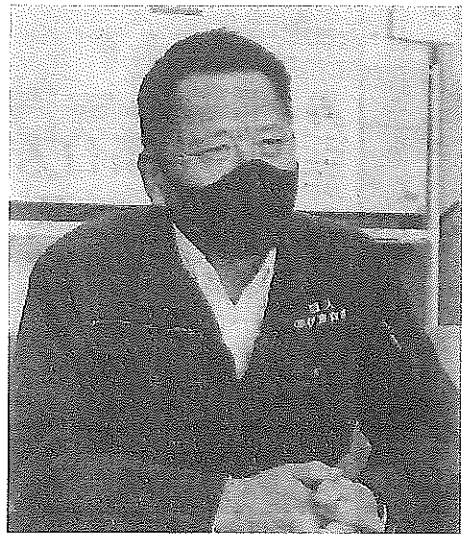
6/9



離任にあたって感謝の言葉を述べるレ・アルトゥルさん＝舞鶴市役所で

7/28

工場建設 海外輸出拠点に



舞鶴工場の新設を発表する伊藤博永社長—舞鶴市役所で

金属リサイクル業 伊藤商店

伊藤博永社長(65)が28日に舞鶴市役所で記者会見し、明らかにした。伊藤社長によると、舞鶴市の新工場では、建物解体などで出るステンレスやアルミニウム銅を仕入れ、解体、仕分け、圧縮して中国、韓国などに輸出する計画だ。同社にとっては4カ所目の拠点になる。

同社は1952年創業。向日市にある工場が手狭になり、2年前から新しい用地を探していた。平工業団地への進出は金融機関からの紹介がきっかけで、「京都舞鶴港は国際埠頭があり、輸出に便利と判断した」という。新工場は鉄骨平屋建てで面積は約1650



金属リサイクル業の伊藤商店(本社・京都市南区)が、舞鶴市平の平工業団地(8・3杉)の用地1・5畝を購入して工場を建設し、2023年8月から本格稼働させる。港に国際埠頭があり、中韓などへのアクセスも良い舞鶴の立地を生かし、海外輸出に特化した拠点となる。地元からの雇用を重視するという。

舞鶴・平工業団地 来夏予定、地元雇用へ



⑤歳末に鮮魚を求める客でにぎわう道の駅「舞鶴港とれとれセンター」—舞鶴市下福井で2019年12月⑥田辺城跡に造られた城門—舞鶴市南田辺で20年12月

舞鶴港・西舞鶴地区

京都舞鶴港の西舞鶴地区が、地域活性化を目指す国の制度「みなとオアシス」に登録されることになった。舞鶴市が発表した。登録は15日付で、市は港を中心に「道の駅」や史跡、地元商店街などをルート化し、にぎわい創出につなげる。【塩田敏夫】

「みなとオアシス」は市伏見区)に続いて4件港を核にし、住民参加の登録となる。舞鶴市は、大型クルーズ船が発着する第2埠頭の旅客ターミナル「うみとびら」を拠点に、新鮮な海の幸を扱う道の駅「舞鶴港とれとれセンター」▽細川幽斎らが居城

「みなとオアシス」に

とした田辺城跡▽マナイ、平野屋、新世界、中央各商店街—などを巡る周遊コースを設定して「西舞鶴のにぎわい」の国の制度登録 にぎわい創出へ

創出を目指す。15日午前10時〜午後4時に登録記念イベントを開催。遊覧船の運航、キッチンカーの出店、ミニSL体験などが企画されているほか、1985年

史的経緯がある。多くの人に町を歩いてもらい、活性化につなげたい。海軍舞鶴鎮守府が置かれた東舞鶴地区についても登録を目指したい」と語った。

の廃止まで市民の足としても利用された旧国鉄・海舞鶴線(西舞鶴駅〜舞鶴駅)の紹介コーナーも設ける。当日はクルーズ船「飛鳥II」も寄港する予定だ。

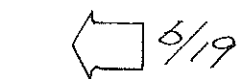
多々見良三市長は「西舞鶴は(田辺藩の)城下町として発展してきた歴史



ウズベクに興味津々

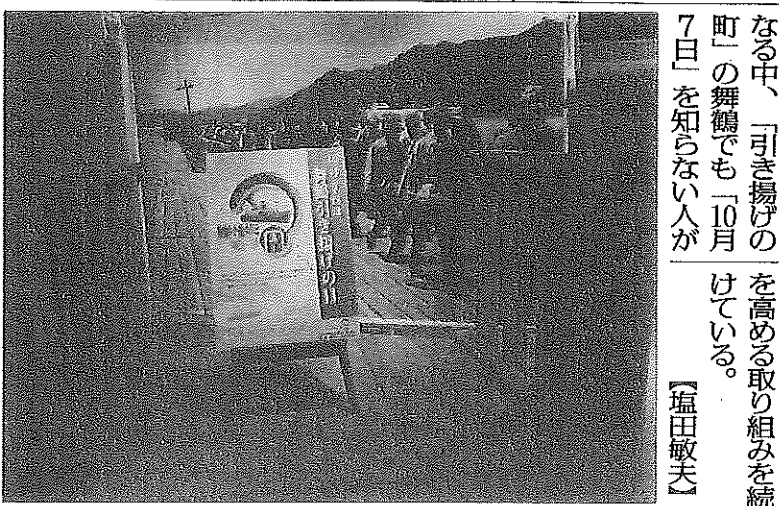
「アニメはある？」次々質問 新舞鶴小に教育訪問団

ウズベキスタン・フェルガナ州の教育訪問団が17日、舞鶴市立新舞鶴小学校を訪れ、児童たちと交流した。一行はフェルガナ州のコシモフ・ファイズラジョン副知事を団長とする8人で、給食の時間に6年生の教室を訪ねた。子どもたちは訪問団のメンバーに「ウズベキスタンの人は舞鶴をどう思っていますか」「ウズベキスタンにもアニメがありますか」などと次々と質問し、興味津々。コシモフ副知事は、中央アジアに位置するウズベキスタンは海がなく、土地が乾燥していることを紹介し、「舞鶴は海や山があり、と



平引揚棧橋は、舞鶴市平地区の舞鶴港の一角にあった。「引き揚げの町」となった舞鶴では、1945年10月から13年間にわたって戦争体験者が少なく

「平引揚棧橋」の模様が舞鶴市北の市役所1階ロビーで展示されている。2018年度に制定した「舞鶴引き揚げの日」(10月7日)の認知度を高めることが目的で、引揚棧橋の上を歩いて、まさに故国にたどり着こうとしている人々の写真も展示した。7日まで。



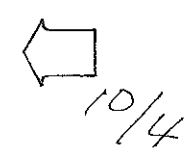
舞鶴市役所「引き揚げの日」関心を

約66万人を受け入れたが、多くの人がこの棧橋を通過して故郷へ向かっていた。舞鶴引揚記念館は平地区の小高い丘の上に建設され、舞鶴港を見渡すことができる。

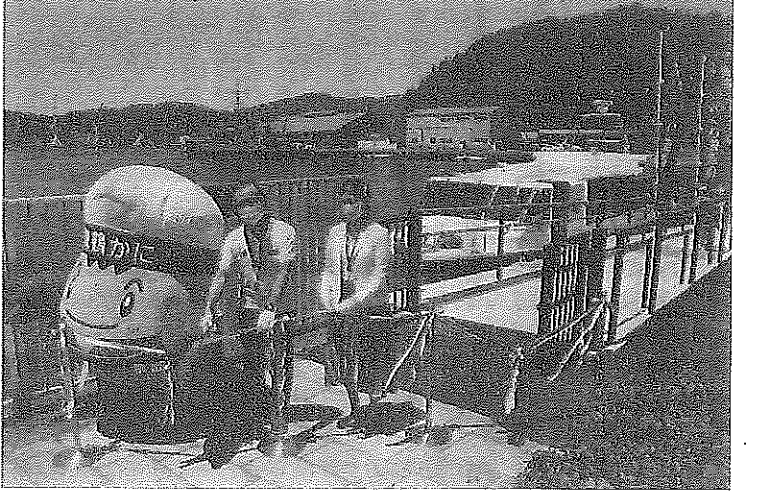
舞鶴港への引き揚げ第1号となったのは「雲仙丸」で、45年10月7日に入港した。市は戦争の惨禍によって生じた抑留と引き揚げの歴史を後世に伝えよう、この日を「舞鶴引き揚げの日」とすることを条例で決めた。しかし市によると、

平引揚棧橋 模型を展示

舞鶴市役所「引き揚げの日」関心を

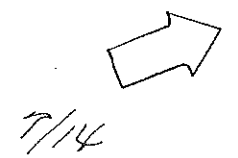


舞鶴東体育館(舞鶴)の場がオープンした1日、新しい遊覧船乗—市が赤れんが博物館



遊覧船乗り場新設

舞鶴 バリアフリー構造に



前広場整備の一環として既存の乗り場の南側に整備したもので、スロープや手すりが付いたバリアフリーの発着場となった。事業費は約980万円。「海軍ゆかりの港めぐり遊覧船」が使用する。